

平成28年度事業計画

(事業方針)

T P P 農業交渉が大筋で合意に至り、今後海外からの安い農産物の輸入増大が懸念されており、国内農業の先行きに不安を抱く農業者が少なくない。また農地については、遊休農地が増える中、その解消と優良農地の担い手への利用集積が大きな課題となっている。

こうした中、当公事事業の柱でもある「農地中間管理事業」は3年目を迎え、過去2年間の活動経過や実績を評価反省するとともに、同事業の実績がさらに上がるような活動の展開を図る必要がある。

そのためには、各農協単体に県内各地へ設置された「農地活用協議会」を中心に農業協同組合、市町、農業委員会等の関係機関が連携・協力を密にし、農地の掘り起こしや農地中間管理事業に係るメリットの周知といった活動の充実・強化を図るとともに、農地の売買を行う「農地中間管理機構の特例事業」についても併せて推進し、担い手に対する優良農地の集積を一層進めていく。

さらに、担い手育成に資する事業として、青年農業者等育成センターにおいては新規就農支援を推進する県等関係機関との連携を図りながら就農促進活動を推進し、経営感覚に優れた意欲溢れる農業者の育成確保を図る。

1. 運営

(1) 理事会の開催

事業計画（実績）及び予算（決算）等について審議するため、通常理事会を開催するほか、必要に応じ臨時理事会を開催する。

(2) 評議員会の開催

一般社団・財団法人法並びに定款に定める事項の審議をするため、定時評議員会を開催するほか、必要に応じ臨時評議員会を開催する。

(3) 評価委員会の開催

客観的かつ中立公正な観点から、農地中間管理事業の実施状況を評価し、これに関し必要と認める意見を聴取するため開催する。

(4) 監査会の開催

事業実績並びに収支決算関係について監査を受けるため開催する。

(5) その他

必要に応じ、事業推進等に関し県当局等と連携し打ち合わせ会議を開催する。

2. 事業計画

(1) 農地中間管理事業

離農又は経営規模縮小農家などから優良農地を借り入れて中間保有し、地域の担い手農家や新規就農者などにその農地を貸し付ける事業を実施する。

ア 農地等の借入れ

農地等		備 考
件数	面積	
300件	100ha	果樹90件30ha 田110件35ha 野菜・花100件35ha

イ 農地等の貸付け

農地等		備考
件数	面積	
300件	100ha	果樹90件30ha 田110件35ha 野菜・花100件35ha

ウ 事業の推進活動

- ・農地の掘り起こし活動の推進
- ・農地中間管理事業のメリット周知
- ・関係機関の連携促進
- ・事務体制の改善

収支予算書<正味財産増減計算書>

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

公益財団法人和歌山県農業公社

公益目的事業 農地中間管理機構・農地中間管理事業

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①農地中間管理事業収益	[6,300,000]	[1,450,000]	[4,850,000]
ア農用地等貸付収入	6,300,000	1,450,000	4,850,000
②受取補助金等	[47,625,000]	[43,107,000]	[4,518,000]
ア農地中間管理事業補助金	47,625,000	43,107,000	4,518,000
③雑収入	[5,000]	[1,000]	[4,000]
ア雑収入	5,000	1,000	4,000
経常収益計	53,930,000	44,558,000	9,372,000
(2) 経常費用			
①農地中間管理事業費	[7,890,000]	[35,120,000]	[△ 27,230,000]
ア農用地等借入費	7,590,000	2,740,000	4,850,000
イ農用地等管理事業委託費	300,000	32,380,000	△ 32,080,000
②農地中間管理事業業務費	[46,040,000]	[9,438,000]	[36,602,000]
ア人件費	9,710,000	5,194,000	4,516,000
イ旅費交通費	1,200,000	1,200,000	0
ウ事務費	1,500,000	1,300,000	200,000
エ光熱費	400,000	400,000	0
オ賃借料	700,000	900,000	△ 200,000
カ業務委託費	32,380,000	300,000	32,080,000
キその他業務費	150,000	144,000	6,000
経常費用計	53,930,000	44,558,000	9,372,000
評価損益調整前当期増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	△ 4,586,000	△ 1,130,000	△ 3,456,000
一般正味財産期末残高	△ 4,586,000	△ 1,130,000	△ 3,456,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 4,586,000	△ 1,130,000	△ 3,456,000